
交換

_瑠姫

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

交換

【Nコード】

N9196Z

【作者名】

— 瑠姫

【あらすじ】

双子の姉妹、莉愛と愛莉。仲のよい姉妹だったのだが…？
一応ホラーだったりします。

序章

あるところに莉愛^{りあ}と愛莉^{あいり}というとても仲のよい双子の姉妹がいた。

しかし似すぎていて親でも区別がつかない。

困った親は莉愛にツインテール、愛莉にポニーテールで髪を結った。

「これで区別がつくわ」

大人は皆、一安心だった。

それから10年の歳月が過ぎ彼女たちは16歳になった。

「莉愛〜愛莉〜起きなさい!」

1日はまず母の怒鳴り声で始まる。

『はい』

それぞれ別のところから返事をしているはずなのに

同じタイミングで返事をする。

これが双子というもの。

2人は諦めつつあるようだ。

『おはよ〜』

同じタイミングでこれまたリビングに着たから

母も驚いた。

それに彼女たちはまだ髪を結ってなかった。

「おはよう。コッチが…莉愛？」

「はーずれ！私は愛莉よ！」

そっいいながら彼女たちは洗面所に行き

莉愛は2つに、愛莉は1つに髪を束ねるのだった。

しかし莉愛は髪を結おうとしない。

「ねえ、愛莉。今日数学のミニテストあるのよね」

愛莉も手を止め返事をする。

「あ、莉愛！あたしも国語のスピーチがあるの」

ソックリな声で会話をする2人。

目をつむって聞いていると同一人物がしゃべっているようだ。

『交換しよ！！』

二人は同時に言ったことについてはあえて何も言わず
髪を結うのを再開した。

ただし

莉愛はひとつに、愛莉はふたつに。

「おはよ〜」

彼女たちはこうして

莉愛は愛莉に、愛莉は莉愛になったのだった。

「きりっつ」

【さよーならー】

学校が終わりガヤガヤと帰宅を初める生徒たち。

莉愛は得意科目の国語を愛莉の教室で完璧にこなし

愛莉は得意科目の数学のテストで100点を取った。

二人の少女はそれぞれ帰宅を始める。

ここから、ズレが始まった。

莉愛

最近暑くなってきたな

首に汗のせいでくっつく腰までのばしていた髪をかきあげる。

ポニーテールで首にくっつくから嫌よね。

愛莉は大変だ……

そうだ、愛莉を驚かせよう。

シュツとポニーテールをほどこ

私は家の帰る道を引き返し

ある店に急いだ。

愛莉

シャキン、最後の音が聞こえた。

「終わりましたよ」

店員が声をかけてくれる。

「これでいいですかあ？」

「ありがとうございます」

会計をすまし私は店を出た。

そこから私は借りたいCDがあったことを思い出し
店を出た向かいにあるビデオ屋に入った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9196z/>

交換

2011年12月28日20時52分発行